



研修の様子



当院副院長の近藤医師が講師を務め、全職員を対象にハラスメント研修を実施しました。

医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1. 良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2. 患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

3. 患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。



医師紹介

自分自身の体の声、ちゃんと聞いていますか？

こんにちは。2023年11月より当院で外科医として日々診療にあたっている阿部と申します。

地域の皆さんの健康を支える立場として来院される方々と接する中で、気になっていることがあります。それは、「ちょっと気になる症状を、ついそのままにしてしまう方が多い」ということです。

たとえば、便秘が続いている、便に血が混じっていた、トイレの後に肛門から出血していた——こうした症状があっても、「そのうち治るだろう」「痔だと思って…」と、検査を勧められても様々な理由でそのままにしている方が意外と多いのです。

もちろん、すべてが重大な病気というわけではありません。ですが、中には大腸ポリープや大腸がんといった疾患が隠れていることもあります。特に大腸がんは、日本人にとってとても身近ながんのひとつ。けれど、早く見つけて治療すれば、高い確率で治る病気でもあります。

「恥ずかしいから」「怖いから」「もう年だから」といった理由で検査をためらう気持ちもわかります。でも、もしも何か異常があるとしたら、早めに見つけたほうが治療も軽く済みます。また、「何もなかった」という安心も得られます。

大腸検査の1つである**3D-CTコログラフィ**を知っていますか？ これは、大腸を炭酸ガスで拡張させた状態でCT撮影することにより、コンピューター上で内視鏡のような画像を再現する検査です。検査前には、下剤で腸をきれいにする準備が必要ですが、内視鏡検査前に比べると半分以下で済みます。内視鏡を挿入しないため、体への負担は少なく、苦痛も抑えられます。デメリットは組織の生検やポリープ切除は出来ないこと、小さな病変の検出は難しいこと、医療被曝があることなどです。

検査は15分程度で終了します。大腸内視鏡検査に抵抗がある方や、腹部術後の癒着などで内視鏡検査の実施が困難な方には最適な検査です。大腸検査が必要なことはわかっているのに、内視鏡検査だけは避けてきたという方、検査を受けてみませんか。

日々のちょっとした変化に気づけるのは、誰よりも自分自身です。「なんとなくいつもと違うな」それは体が何かを訴えているサインかもしれません。「まだ大丈夫」と思って何もしないより、「念のため」検査を受けて安心する方が、ずっと前向きな選択です。

平穏な日常を続けるためにも、自分の体の声に耳を傾けてみてください。そして、気になることがあれば、遠慮せずに相談してください。



外科科長 阿部 ゆき



医師紹介

2024年10月から赴任し、外来・入院での診察・治療、超音波検査等に従事させていただいております。出身は由利本荘市です。海の見える町で育ちましたが、秋田市内や内陸部での勤務が長かったため、海を眺めながらの通勤を心地よく感じています。

診療に関しては循環器内科学を専攻し、特に心臓超音波検査に力を入れております。患者さんへの負担が少ないこと、リアルタイムで心臓の動きや血液の流れを評価できることが心臓超音波検査の魅力と感じています。しかし、検査の精度を高めるには自身の技量を高める必要があるため、日々修練を重ねていきたいと思っております。

また、気になる症状を気兼ねなく相談いただける雰囲気を目指して診察を行っております。お気づきの点がありましたら、お声がけいただくとありがたいです。

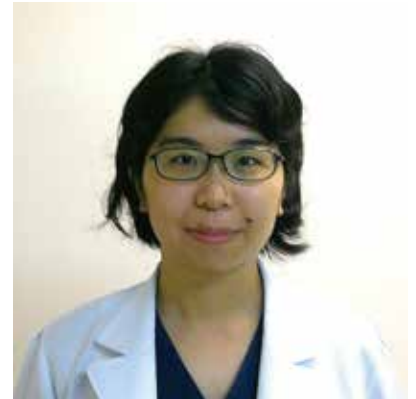
個人的に最近注目している疾患は睡眠時無呼吸症候群です。睡眠時無呼吸症候群と循環器内科疾患には様々な関連があることが報告されており、2023年には「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン」も発行されました。例えば睡眠時無呼吸症候群によって高血圧症、虚血性心疾患、不整脈、大動脈疾患の罹患率が増加したり、高血圧症が治療抵抗性となる場合があることが知られています。他にも糖尿病や脳血管障害とも関連するとされています。

肥満の方に多い印象があるかもしれませんが、肥満以外の原因（顎の形態、舌の大きさ、扁桃肥大など）が影響している場合があり、肥満でなくても睡眠時無呼吸症候群になる可能性があります。

症状としては、不眠、日中の眠気、倦怠感、頭痛などがありますが、同居家族からいびきや呼吸停止を指摘されて発見される場合も多いです。

実は私の家族も頻回な頭痛があり、いびきが気になったためPSG検査（無呼吸の回数や酸素飽和度の値などを測定）を勧めたところ、睡眠時無呼吸症候群の診断となりました。治療は重症度や原因に応じて種類がありますが、CPAP（機械で圧力をかけた空気を鼻から送り込むことで気道を広げる）治療が適応になりました。CPAP治療を行ってからは頭痛薬を内服する回数が格段に減り、日中も眠気や倦怠感が減ったために活動的になりました。いびきもほとんど無くなったため、本人だけでなく、家族も安眠できて快適です。今では旅先にも欠かせないアイテムとなっております。

ご自身が当てはまるかもしれないと思った方、ご家族のいびきや無呼吸が心配な方は一度医療機関への相談をご検討ください。もしかしたら、お悩みの症状の改善だけではなく、将来的な循環器疾患の予防にもつながるかもしれません。



循環器科 鵜沼 真由

交番磁界治療器 エイトについて

交番磁界治療器 エイト（以下 エイト）という医療機器は御存知でしょうか。このエイトという医療機器は、熊本県に本社がある「株式会社 P・マインド」社が開発し、交番磁界治療器として令和4年1月に承認されたものです。



エイトを使用することで
どのような効果が期待されると思いますか？



「痛みの緩和」です。

痛みの緩和のためには、昔から様々な機器が使用されてきました。この度、「線維筋痛症・慢性疼痛学会」の学術集会にて、エイトを使用したことにより痛みの緩和が図られた報告があり、注目されています。

線維筋痛症とは、関節や筋など全身の広い範囲に痛みが継続する原因不明の難病です。現時点では根本的に治療する方法が確立されておらず、痛みを軽くして日常生活を送れるようにするため、痛み止めを使用した薬物療法や非薬物療法にて治療しています。

当院では、重度の線維筋痛症を診察している呼吸器科 三浦一樹 医師の勧めで、2024年4月から導入しました。週1回～月1回の治療機会にとどまっていますが、治療後に「痛みが減った」、「身体が軽くなった」などの効果がみられています。

次にエイトの機器や治療方法について説明します。エイトは機器本体と痛みの箇所にあてる導子が4個で構成されています。治療を開始すると、導子に内蔵されているコイルから2種類の微弱な交番磁界が発生して皮膚上に照射されます。一般的に使われる低周波などの治療では、「ビリビリ」など感じることもありますが、エイトは微弱な磁界のためほとんど何も感じることなく、照射している部分が赤くなるなどありません。

治療時間は、痛みの箇所に導子をあてて、30分間照射します。線維筋痛症患者様のように全身に痛みが及ぶ場合には、上半身の痛みに対しては肩甲骨周囲に導子をあて、下半身の痛みに対しては腰に導子をあてて、それぞれ30分ずつ、計1時間照射治療します。30分ずつが長い場合には、時間を短縮することも可能です。

治療手順は、痛みがある場所に導子をテープではり、スタートボタンを押すと治療開始し30分経過しますと自動で終了するため、余計な設定などがないのが特徴です。できれば毎日行うことで治療効果が上がると推奨されています。通院が大変となれば、月々のレンタル契約をすることもでき、自宅で治療が可能となります。

まだ治療を行っている方は少ないのですが、治療後にすぐに効果を実感している人が多い印象です。ただし、患者様一人一人効果や感じ方が違うため、導子をあてる場所を変えるなど患者様に合わせた治療を行い、効果を上げられるように進めていきたいと思っています。

診療看護師（Nurse Practitioner：NP）

皆さんは「診療看護師（Nurse Practitioner：NP）」という職種をご存じでしょうか。診療看護師（NP）は、看護師としての専門的な知識と経験を土台に、医学的な診療行為の一部を担うことで、医師と協働しながら患者さんの治療をサポートする新しい医療専門職です。海外では50年以上の歴史がありますが、日本では2015年以降に本格的に制度化が進み、現在は病院や地域医療の現場で活躍の場が広がっています。問診や身体診察から、検査の解釈、治療計画の提案、さらには患者さんやご家族へのわかりやすい説明まで——NPは「看護学の視点」と「医学の視点」を橋渡しし、チーム医療を円滑にする存在として期待されています。



診療看護師 三宅 徹



私はその診療看護師（NP）として、主に外科系患者さんの診療補助を担当しています。入院患者の管理はもちろん、救急外来での初期対応、全身麻酔の補助や褥瘡（じょくそう）対応まで幅広く関わり、医師が次の治療へ専念できるように必要な情報をまとめて共有することが私の重要な役割です。また、身体検査の延長としてベッドサイドで行う超音波検査を得意としており、出血や脱水、褥瘡の深さなどを迅速に評価し、早期の治療方針決定につなげています。

私は神奈川県横浜市出身で、看護師経験を重ねた後、診療看護師（NP）を取得し地域医療に貢献したいという思いから秋田へ移住しました。現在は診療看護師（NP）として臨床に従事しながら、臨床研究を進めています。また、医療者教育にも興味があり、秋田大学や看護専門学校で非常勤講師として次世代の看護師育成にも力を注いでいます。

医療が高度化・複雑化する現代において、誰もが安心して治療を受けられる環境を整えるには、専門職同士の連携強化が不可欠です。診療看護師（NP）はその潤滑油として、看護と診療をつなぎ、地域の皆さま



により質の高い医療を届けることを使命としています。今後も臨床・教育・研究の三本柱をつきつめて、秋田から全国へ、そして世界へと新しい看護の可能性を発信していく所存です。どうぞ温かく見守っていただければ幸いです。

医療サービス室

令和7年4月1日より、医療サービス室を開設いたしました。

～開設の目的～

1 受診患者さんのご相談やご案内、受付などのサポート

- 初診の患者さんや発熱の患者さんのご案内
- 事務手続きなどのご案内
- マイナンバーカード利用のお手伝い

2 自動血圧計の測定のお手伝い

内科外来診察の効率をあげるため、外来ホールにおいて診察前に自動血圧計で血圧測定を実施します。(他科受診の方もご利用いただけます。)

医療サービス室は、医療スタッフ1名・事務スタッフ1名です。

患者さんやご家族の皆さんが、気軽にご相談・お声かけいただけるように心がけております。「受付操作を手伝ってもらえて良かった」「いつもいてくれると安心して受診できる」等、開設早々に嬉しい評価をいただいております。

来院した時の不安な気持ちや心配なことが、少しでも解消できたら幸いです。

「この病院に来て良かった」と思っていただけのように、サービスの提供に努めてまいります。

医療サービス室 室長

加藤 節子



特定医療法人 敬徳会

藤原記念病院

〒010-0201

秋田県潟上市天王字上江川 47

TEL お電話の方はこちら

018-878-3131

URL インターネットはこちら

<https://www.fujiwarahsp.or.jp>

なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されています。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しながらなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)